



歴史のわがまち

生瀬

なまぜ



第371号
 発行日：令和6年3月1日
 生瀬地域コミュニティ協議会
 宮っ子編集部：編集・発行
 〒669-1102
 西宮市生瀬町2-20-22(生瀬市民館内)
 ☎ 0797-86-5030

「ぐるっと生瀬」今年も節目の10年目
 —新しい道路には新しいルート、ダイヤで—

「ぐるっと生瀬」は平成27(2015)年に初運行し、今年の10月1日で10年目を迎えます。バス導入に向けて、熱心な当時の5自治会の代表が、先進地域の視察や喧々(けんけん)譁々(たつたつ)の議論を重ね、さらに2回の試行運転を繰り返した準備期間を含めると、実に14年を数えます。近隣に例がない中、手探りで始めた初年度は、いきなり利用者数と収支率が予想をはるかに上回る上々の滑り出しでした。

運行にあたっては、国や西宮市の推奨の下に行っており、赤字補填(ほてん)の限度額は収支率にして40%以上、金額にして600万円以内と定められています。過去8年間、安定した運行運営になっていますが、今後、急激な変化にも対応できる運行・運営を心掛ける必要があります。

運営は全国的には行政か事業者が行うのがほとんどですが、生瀬は地域が主体で行っています。ルートや時刻表、停留所、料金などの運行に関する計画をはじめ、事業者の選定、地域説明会や住民の説得など、準備は全て地域が行ってきました。また、啓発広報誌の発行、利用促進活動、そしてバスの遅延、運休、車内の忘れもの、苦情や要望の対応にも地域が対応しています。

年6回の理事会を開催し、運行上の課題とその方策、情報交換をしています。他にも地域行事や利用促進活動に参加したり、ゆるキャラを活用した広報活動なども行っています。

過去、いくつかの要望などに応じて運行の変更を行いました。6便の増便、4地域を一周する夜間便の新設、土曜日の試験運行、停留所の新設などです。現在、「新しい道路には新しいルート、ダイヤで」を合言葉に、各自治会で運行計画を見直す作業を始めています。令和8年には、4車線になった国道176号の開通、拡張され新しくなった西宝橋の完成により、地域を



理事集合写真。前列右から4人目が小柴貞夫副理事長、続いて高橋薫理事長、吉岡政和副理事長

巡回する所要時間が数分は短縮されるはずですが、清瀬台も参入し、およそ9年ぶりの全面見直し計画を検討中。容易ではありませんが、折り合いをつけて一致できると思っています。計画案作成の期限は今年の8月末です。その後、試走を行い、微調整をして、国へ申請を行うのが来年の6月です。そして、いよいよ令和8年には生瀬全自治会が知恵を寄せ合った計画案でバスの運行が始まります。

全国的に見てコミュニティバスの寿命は短命です。「ぐるっと生瀬」は、全自治会の合意形成で成立しており、足腰(こしやう)が強靱(きょうじん)です。今後とも、生活の足である「ぐるっと生瀬」を、厳しく温かく見守ってください。

心やすらぎを

医療法人社団 緑水会

〒669-1101 西宮市塩瀬町生瀬1281番地の5
<http://www.ryokusuikai.jp>

北摂中央病院 (医療療養型病院) Tel. 0797-84-8281
 北摂中央病院 通所リハビリテーション Tel. 0797-84-8335
 介護老人保健施設 シルバーハウス Tel. 0797-85-8591
 訪問看護ステーション みどり Tel. 0797-85-8611
 居宅介護支援事業所 Tel. 0797-84-2061
 西宮市北部在宅療養相談支援センター

広告

山根内科クリニック

☎(0797)69-0360

JR生瀬駅前コープ2F 予約診療可(受付)
 西宮市生瀬町2-2-2

診療時間
 午前9:00~12:00
 午後4:30~ 6:30

休診日
 日曜日・祝祭日
 木曜日・土曜日午後

※往診ご希望の方は、ご相談ください。

広告

元気に、楽しく「健友会」

— 花の峯 老人クラブ —

今年めでたく満20歳。成人式を迎える花の峯老人クラブ「健友会」を紹介します。

平成16（2004）年に生瀬中部老人クラブから独立した際は、会員30人を集めることにも苦労しましたが、今では男性37人、女性40人の活力あふれるクラブに成長しました。

平成24年に生瀬で初めて「西宮いきいき体操」を導入。毎週木曜日に開く例会では、当初、インストラクター直伝の講習が行われ、会場に入りきれないほどの盛況でした。現在はビデオ講習と先輩による手

ほどきで着実に継承されています。石井登志郎西宮市長を迎える機会があり、重り装着体操になると「とても皆さんには追い付いていけない」と驚きの声を石井市長が上げていました。その他の活動として、月2回の公園清掃、毎朝のラジオ



ゆったりと行う「いきいき体操」さらに、多くの参加を待っています！

体操（有志）、食事会、誕生日に赤飯の配布、「ことぶき号」での研修バス旅行があります。さらに、自治会のサークル活動ベタンクやボウリング、マージャン、切り絵、手話「かたつむり」などでも、ほとんど健友会のメンバーが運営維持しています。

ここで、本年度「ことぶき号」で行った研修バス旅行の様子を、同行した「宮つ子」編集員の感想とともに紹介します。

健友会は「高台いこい会」と共に、昨年7月19日に「ことぶき号」で、丹波篠山方面へ行きました。最初に行ったのは、「丹波伝統工芸公園 陶の郷」です。最初に出迎えたのはたくさん風鈴の音でした。「こっちが涼しいよ」「ここに座ったら景

色がいいよ」など、会の皆さんから優しい声掛けがありました。展示物の陶器を食い入るように見ている私に、後ろから笑顔で解説案内をしてくれる人もいて、初参加の私もすっかり長年の一員のように接してもらいました。

次は、「特産館ささやま」での昼食です。ゆったりと時間を設けてあり、時間を気にせず丹波篠山のごちそうを堪能することができました。

最後は「丹波杜氏酒造記念館」で利き酒です。「陶の郷で見た杯で飲んだらうまいやろうなあ」と話しながら飲みました。

記念館を出てからは、篠山の町を観光したり、買い物を楽しんだり、各自が自由時間を楽しめました。町の中で出会うと笑顔を交わし、誰もが、ずっと昔からの友達だったように会話が弾んでいました。また、少し足が弱くなっている男性にそつと手を添え「隣を歩いてもいいですか」と声をかけている女性に出会い、その優しい行為に胸がキュンとなりました。

このバス旅行は、みんなが一緒に楽しみ、共に笑い合える温かなものでした。

（花の峯編集委員）

表情豊かな「かかし」が集落を元気づけています

… かかし130体、住民は6人 …

生瀬地域コミュニティ協議会主催のバスツアーで昨年11月21日に「奥播磨かかしの里」、福崎町の「柳田國男生家」へ行きました。



「野良仕事、いつもご苦労さまです」

疎化が進みましたが、そこで、村の過疎化を少しでも防ごうと考えられたのが、かかし作りでした。

かかしの里は、姫路市最北端の安富町閑地区にあり、川を挟んで両側が急峻な山あいの集落です。元々は林業（炭焼きなど）が盛んな村でしたが、昭和30（1955）年代から、木炭から電気やガス、石油などに変わる燃料革命が起こり、その影響で林業がすたれ、村では急速に過疎化が進みました。



柳田國男が「日本一小さな家」と言った生家

地域を活性化させる取り組みは、いろいろと参考になりました。（広報）



知らなかった人と会話ができ、知り合いが増えました

私たちが行くとき、集落の入り口では、表情豊かな「かかし」が迎え。約600mの道沿いには、リヤカーを引いているかかし、バス停のベンチで腰を掛けているかかしがいて、プレハブ小屋の中では、子どもたちが授業参観を受けている風景が再現されていました。都会では、もう見ることもない懐かしい風景を、ここでは感じ取ることがができます。

次に向かったのは福崎町です。福崎町辻川には、日本民俗学の創始者・柳田國男の生家があり、柳田國男にちなんで妖怪で町おこし。カップパの「がたろう」「がじろう」やてんぐに会いました。

人いろいろ(171)

― 伝統芸術「盆石」を継承する ―
(青葉台) 衣笠 浩子さん



「盆石」を知っていますか。盆石は、

黒い盆の上に自然石を置いて山々を表し、白砂をまき、羽根や小さなほうきで水の流れや波を描きます。川羽根、松さじ、しぶきさじ、波を作るほうきなど、繊細な道具もいろいろあります。雄大な海や川の景色を盆上に展開する、日本古来の縮景芸術です。



衣笠さんが盆石を打っているところ。後ろに九つの引き出しがある砂だんが見えます。



衣笠さんの作品:群馬県吹割の滝

「盆石」は、20年前、機会があったて芦屋市国際交流協会に籍を置くようになり、イベントの中で盆石を披露するという話が出ました。同協会会長(当時)の義姉もずっと盆石をしていて、遺品として道具がたくさん残っていました。それを受け継ぎ、ぜひ、盆石を教えてくださいと頼まれたのです。衣笠さんは、長年の空白を埋めるためにもう一度、一から勉強し、今に至っているそうです。

三田の古民家で盆石展も開催してきました。(広報)

生瀬の自然15

〜 風光る 〜
森林インストラクター 太田 昌子

立春を過ぎたころから日が延びて、晴れた日には太陽がまぶしく、心地の良い風も吹いてきます。「風光る」は早春の季語です。風が光るって、どんな現象でしょうか。気温は低いのですが、降り注ぐ陽光の暖かさを受け止め、地面がぬくもり始めます。「下萌え」も早春の季語です。冬枯れの地面に、草の芽吹きが始まる様子です。道端や庭、畑に草が生え、小さな花をつけ始めます。散歩に出かければ、その花が光を受けてキラキラと輝き、風も光っているように見えます。



この花たちを見てみると、さまざまに遊んだ子どもの頃を思い出します。小さな花束を作ったり、花を摘みとってままごとをしたり。大人になってからは、実際に食べられる春の野草のサラダも作りました。ムラサキダイコンの薄切りを塩漬けにしたものを包装紙に見立て、食べられる草の柔らかな部分を花束にして包みます。花束のサラダ、作ってみませんか。春によく見かける、道端で咲く爪の先ほどの小さな花。キユウリゲサ、オオイヌノフグリ、タネツケバナ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ハコベ。散歩に出かけたときに探してみてください。

ABCデイサービス

粹き生き。

株式会社 ABC 医療

西宮市生瀬 2 丁目 8-14

TEL 0120-153-117

エービーシーケアセンター
・ 居宅介護支援事業所・訪問介護事業所
・ 福祉用具事業所・住宅改修
エービーシー訪問介護ステーション

“” きむら 歯科医院

一般歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科

診療時間(月~土) 9:30~12:30 14:30~19:00(土曜17:00迄)

休診日 日曜・祝日 急患随時 在宅診療可

〒669-1104 西宮市生瀬武庫川町2 セルヴィオ4番館207号

TEL&FAX 0797-85-8400

生涯自分の足で歩いて 楽しい人生を歩むために...

生瀬市民館が休館だったため、塩瀬公民館でノルディック・ウォーキングの生瀬講座が開催されました。

ノルディック・ウォーキングとは、ヨーロッパは北欧フィンランドにおいてスタートした2本のポールを使ったウォーキングです。昭和5(1930)年ごろからフィンランドのクロスカントリー選手が、夏場トレーニングの一つとして活用しました。1900年代後半からは、手軽に全身運動効果の高いエクササイズとして注目されはじめ、日本だけでなく世界中で急速に人気が高まっています。年齢を問わず、気軽にできるのも特徴です。

そのノルディック・ウォーキングの第一人者であるエヌウォーカー倶楽部の藤川真司さんが今回の講師です。まず、座学から始まり、実技へと続きました。

座学では、健康に必要な三つの要素から始まり、持久力や瞬発力を鍛えるにはどうすればいいかなどを聞きました。ノルディックで正しく歩けば、



講師の指導を受けながら真剣に歩きます

無理なくできることも分かりました。次は実技です。初めに約10mを普段の歩き方で歩き、歩幅を測りました。それから2本のポールの持ち方と歩き方を習い、ポールを持って講堂の中を歩きました。慣れないうちは歩き方もぎこちないのですが、徐々に歩けるようになりました。20分ほどの時間でしたが、最後に歩幅を測ると、全員が5cm前後増えていて、その成果を実感できました。

ノルディック・ウォーキング
インストラクター 田村登美子

【3・4月の催し案内】

— 生瀬講座 —

★講座「病気と治療薬剤
生活習慣の改善」

日時 3月8日(金)10:00～11:30

講師 セガミ薬局

会場 生瀬市民館 ※申込不要

〒 生瀬市民館86・5030

— 生瀬よちよち広場 —

★「子どもの心と絵本」

日時 3月12日(火)10:30～11:30

要申し込み 塩瀬児童センター

会場 生瀬市民館

〒 塩瀬児童センター61・1710

— 北部図書館 —

【おはなし会】未就学児は保護者同伴

★「0～2歳児向けおはなし会」

日時 3月第2木曜日11:00～

場所 図書館前ロビー

定員 先着6組

★「0～2歳児向けおはなし会」

日時 4月第2木曜日11:00～

場所 塩瀬児童センター

定員 先着15組

★「幼児～小学生向けおはなし会」

日時 毎週日曜日11:00～

場所 図書館前ロビー

定員 先着12人

〒 北部図書館61・1706

※西宮市に気象警報が発表された場合は中止します

編集後記

近所の友達と週1度、陽気につられて散歩するのが楽しみです。公園の桜の木や花壇の花を眺め、夢公園を巡り、武庫川の川べりまで歩きます。押し車を押して1時間半ほどの道中、「段差やビル風はつらいなあ」「ここにベンチがあればいいなあ」と思うことがあります。

公園や道の美しさが地域の皆さんの活動に支えられていることに感謝すると同時に、地域にさらにゆとり散策できる心地よい道が見つけられるといいなと願いました。みんなでつくることのできるいいですね。(広報)



(広報)

生瀬自動車株式会社
ダイハツ西宮北
 西宮市生瀬町1丁目26-24
 TEL 0797-81-0202

ご葬儀 (お花の祭壇)
 総合葬祭
(株) 真まこと心
 宝塚市口谷西1丁目20-6
 家族葬儀・・・ご相談下さい。 ☎0120-0983-42
 ☎0797-78-9475
 生前見積もり承ります。・・・(祭壇費用より1割サービスいたします)